横浜災害ボランティアネットワーク会議

平成30年度　第1回運営委員会について報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| 日　時 | 平成30年4月11日(月)　18：30～20：50 |
| 会　場 | 横浜市健康福祉総合センター　８階　大会議室AB |
| 参加者 | 鶴見区災害ボランティアネットワーク：河西（運営委員長）  ガールスカウト横浜市連絡協議会：外山  南区災害救援ボランティアネットワーク：高松  磯子区災害ボランティアネットワーク：小原  金沢区災害ボランティアネットワーク：深浦  港北区災害ボランティア連絡会：宇田川  とつか災害救援活動ネットワーク:宮川  泉区災害ボランティア連絡会： 乾  オブザーバー：横浜市市民局市民活動支援課　　西島係長・清見  事務局：横浜市ボランティアセンター　若林・別田・田村 |

■運営委員長あいさつ

■委員自己紹介（オブザーバー・事務局含め自己紹介）

■防災グッズの紹介（防災テント）

　「簡易型避難用テント　避難ルーム」の紹介

テントの説明：避難所内でのプライベート用のテントを持参した。現在200市町村超えて導入してもらっている。去年約2,000個導入した自治体もある。導入した市町村は必ず防災訓練に使ってもらっており、本日持参したテントは間口は広く、車いすで出入りできるタイプで、金額は9,800円。東京都内の赤十字支部にも導入してもらい、避難所での赤十字の医療チームの滞在場所として活用してもらう予定。ぜひ防災訓練等に活用してもらいたい。特徴は暑さ対策としてメッシュ素材になっているところ。室内の安否確認も容易にでき、下が縫ってあり盗難防止も効果がある。男女の仕切りとしても使えるので便利。戸塚区の災ボラネットにて購入してもらうことになっている。

　Ｑ：備蓄するときはどのくらいの大きさか？

　　　　Ａ：パンフレットに例示しており。1箱4つ入っている。200人分の大きさで例示している。200人分の段ボールは置く場所も必要だし、重さも重い。

Ｑ：一人住まいの方も多く。この半分サイズがあれば、うまく配置できるのではないかと思う。

■議題

１　平成30年度総会及び会員向け研修会について

　　資料１について事務局より説明。

　　総会の日程については本日確定したい。

　　　【総会日程】平成30年6月7日（木）18時30分から

・準備のため運営委員は17時30分に集合。

・6時受付開始、6時30分開会

・危機管理の方に市の防災計画について話をしてもらって、7時35分～総会。

・今期の総会は役員改選がある。29年度の事業報告と決算ののち幹事監査報告

・役員の改選を行い、新年度の事業計画・予算案を諮る。

・前回の運営委員会で諮った、寄付金の運用についても承認をもらう。

　　　※役割分担

会費の受付：外山、高松

総会司会：深浦

研修会司会：宮川

挨拶：運営委員長、岩岡課長（市民局）

議長：磯子区社協（依頼予定）

監事：青葉区社協とサービス協会（依頼予定）

　　　※監査の日程については事務局が調整する。

２　平成30年度事業計画及び平成30年度予算について

　　事務局より説明。

　　事業計画の内容について

・6本柱の3年継続の最後の年にあたる。

　　　予算について

・負担金収入はこれから横浜市に請求する。

・ブロック別の助成金は本年度も継続する。

（手話通訳申し込みがなかったので経費がかからなかったというのが今回の差額の理由）

意見：ネットワーク会議の組織強化について、全部の区から運営委員がでたほうがよい。

運営委員会機能強化できる体制になれば、事務局に頼りきりにならないという課題は解

決できるのではないか。基本的には役員会が議題を決めて年間計画を作り、社協は一定

程度のサポートでよい。運営もボランティアが担うのが望ましいし、社協と一緒にや

るというスタンスはかわらない。

意見：きちんと運営委員が出ていない区にたいして呼びかけをする。

意見：自分の区もそうだが、人出不足もあってネットワークや総会の研修会やマンパワー的に厳しい実情はある。

意見：運営委員に入ったらどんなお得感があるのか、作り上げていく必要がある。

意見：区単位で抱えているそれぞれの危機感がある。各区の方針をどのように作っているか知りたいし、それを知ることができるのが、18区集まる意義だと思う。

　　意見：他区から学べる場所にする。ブロック会議は大きなきっかけになっている。

質問：各区の災ボラで運営資金はどうしているか教えてほしい。お互いに自分たちがやっている情報で課題があればそういった部分も共有できる会議にしたい。

意見：各区の総会資料予算なども掲載されている。6月の総会の時に各区持って来れば一定程度わかる。

意見：市域の団体が参加する意義も示していかないとネットワークの意味がない。

結論：ブロック内で運営委員が出ていない区に直接要請する。

会員主導の災ボラネットを進めること、会員に魅力ある取り組み・事業を進めていくこと、市域の団体の集まりを検討することを平成30年度事業計画で謳う。

事務局：総会資料案をメールで送るので事前にみていただいて、次回の運営委員会までにご意見いただきたい。

■県災ボラの推薦の話

　乾委員より説明。

　県災ボラの理事は今年度が役員改選。県災ボラから役員候補推薦の依頼がきている。市災ボラの運営委員から推薦するので、この場で決めてもらいたい。規約にも書いているが、32の団体から1名ずつ推薦され、その中から、県災ボラの来年度の代表を決めることになっている。自薦・他薦問わずになっているのでよろしくお願いしたい。

意見：県災ボラの運営委員会などの議事録をこの場で共有できるようにしたほうがよい

意見：運営委員には是非数名参加してほしい。運営委員の募集についてはこれからだが、人数制限を変更する予定になっている。

意見：県災ボラの中でもやっと自分たちが何をすべきかが見え始めている。河西さんがまとめてくれて、やりかかっている途中である。河西さんがまとめて動き始めてくれている時期でもあり、河西さんを推薦したいがいかが。

意見：河西さんが出られるのであれば、河西さんでよいのではないか。

意見：河西代表を推薦するということで全員合意

・ブロック別会議開催状況報告

　Ａブロック：3月開催。災害時の医療の話をした。

Ｂブロック：金沢区が担当で6月19日（火）実施。区災ボラと市災ボラ支援センターがテーマ。ボランティアセンターを立ち上げて、その日の終わりにボランティアコーディネートの集計など話し合ってもらい市に伝達するのをトランシーバーを使って行う予定。

Ｃブロック：6月に保土ヶ谷で開始予定。日程未定。

Ｄブロック：区社協の担当者が代わっているため、仕切り直しを考えている。

■各委員より報告

（磯子区災害ボランティアネットワーク）

総会：5月20日（日）終了後懇親会を予定。

昨日月例会を開催。来年度方針を役員会で決めた。

（泉区災害ボランティア連絡会）

総会：5月12日（土）

1月に区の対策本部と地域防災拠点2か所に協力してもらい、ニーズの聞き取り訓練を行った。この実績を他の地域防災拠点と共有し連携したい。

（南区災害救援ボランティアネットワーク）

総会：5月31日（木）13時

明日が定例会。

（港北区災害ボランティア連絡会）

総会：5月16日（水）10時

総会に向けてアンケートを実施。災ボラセンターの運営が課題ではあるが、実際にボランティアをした方から話を聞きたいという意見があった。机上の研修が多いが、外に出て、アウトドアの技能を学びながら懇親会も含めて行う予定

（とつか災害救援活動ネットワーク）

総会：4月22日（日）10時

屋外での研修会を予定している。参加しやすい活動をしようと話し合っている。

（金沢区災害ボランティアネットワーク）

総会：5月13日（日）10時

定例会の持ち方が課題となっており、報告を聞くだけではなく、ディスカッションを取り入れたり楽しんでできる内容を検討していきたい。

（ガールスカウト横浜市連絡協議会）

10月に講演会を予定している。

（鶴見区災害ボランティアネットワーク）

総会：4月25日（水）15時。

地域防災拠点の方にも来てもらい、図上訓練（DIT）を実施。ＤＩＧ・ＨＵＧ・クロスロードを年替わりで行っている。

来月：5月15日（火）18時30分から